

## 市民と市長の対話集会

「つながるまち小郡」を語ろう！

### 会 議 録（要約）

説明） 農業関係企業を含む新たな企業立地  
の推進について

（会場：緑の里くろつち会館）

## ○農業関係企業を含む新たな企業立地の推進について

加地市長：

夏休みに「子ども議会」を開きました。小学生、中学生、各学校の代表が議会にきて壇上から質問していただくという試みです。立石小学校の代表のお子さんはこんな質問をしました。「近くに働ける場所が欲しい」と。「ちゃんと働ける場所が近くにあれば、お家の方も安心する、みんな家庭が楽しくなる、ぜひ働ける場所ができるような企業立地をしてほしい」という立派なご質問でした。まさにこの地域はそういう問題を抱えておりまして、何とかしなきゃいけないという切実感もあるのではないかと考えています。

さて、今回のテーマ「農業関係企業を含む新たな企業立地の推進について」です。まず、「なぜ農業関係企業なのか」ということについてからご説明したいと思います。

小郡市では、これまで西部・東部の工業・流通ゾーンを定め、企業立地を行ってきており、雇用や税収の増といった成果をあげてきました。今後は企業誘致という考え方をもう少し発展性のある形で広げられないかな、ということで皆さんに呼び掛けているのが、「農業」に関係する企業の誘致です。もともと小郡は「農業」が、基幹産業でありますから、このことで、企業立地を市全体の発展に結びつけられるような開発の可能性を考えたいと思っています。

具体的には、これによって、小郡市で生産された農作物の生産・加工・消費を促進していく、つまり、小郡市市内には農作物の産地がいっぱいあるのですから、農業関係企業が進出することで、産地と企業が結び付き、加工品ができるということを期待しています。今までですと、農業は農業をやっています、流通業は流通業でやっています、という具合にばらばらだった農業と立地企業の関係に新たな可能性が出てくるのではないかというアイデアです。

もう少し話を進めますと、これまでは企業が来ることによって、雇用が生まれ、税収が増え、といった成果が上がるイメージだったわけですが、農業関連企業を誘致することで、新たな効果が期待できるということです。

まず、市内の農業生産者からの買い取り体制ができ、その農産物を加工していくという循環を作ることができれば、農産物の安定的な買取が進み、農家の方々は安心して様々な農産物を作ることができます。更に加工品化への展開が見込めれば、その加工品の産地として小郡の PR ができるといったような効果です。

農業とその他の産業、という形で分けせず、この両者を一体的に進め、好循環を生むことができるのではないかと考えています。

7月に開催した市民みんなでサービスチェックで、この方針に対し、市民や有識者の皆さんからは、次のようなご意見をいただきました。

- ・「企業経営も多角化している。意外な企業が農業に進出していることもあるので、視点を変えて企業にアプローチをしてほしい」
- ・「他の自治体で展開された誘致活動の情報収集や分析を行い、誘致の成功率を上げてほしい」
- ・「誘致する業種は、市の生産穀物である米、麦、大豆を原料とした加工品を生産しているところが良いと思う」
- ・「他に無い新しい食品や食材の開発、捨てられる部位を使った製品の開発ができれば望ましい」

といったご意見です。せっかくいい産地があるのだから、産地からとれたものをうまくいかしていければいいですね。

今までの「行政が民間である企業を呼んでくる」という企業立地から、「立地した先で、民間である企業と、民間である農家さんが結び付き、そこにいい循環が生まれる」といったイメージのつながりを目指しまして、これから小郡市に進出していただける企業の情報収集などに努めていきたいと思っています。

現在、農業関連の事業にお金を出そうと考えている企業はたくさんあります。いろいろな産業の中でも、農業はまだまだ成長分野であるといわれていますから、投資先としても魅力的です。

そう考えたとき、小郡にはいい農地がたくさんあり、物流的にも素晴らしい立地です。素晴らしい環境があるからこそ何とかしたいという気持ちを皆さんお持ちだと思います。この素晴らしい環境を生かしていく手段として、農業関連企業の誘致は一つの手段だと思っています。

たとえば、お隣の佐賀県みやき町ですが、関東や関西を拠点にしている漬物屋さんが工場を出しています。そして漬物屋さんの工場ができることで、近隣の農家の方に「どんどん大根を作ってください。どんどん買い取ります」ということが行われています。その結果、みやき町で作られた商品が、大阪や東京で消費されるという動きも出てきています。他にも、小郡にいい農地がまとまってあるのなら、日本一の苺の産地を作ったらどうか、そういうアイデアを資金も含めて持ってきたいというお話もあります。こうした小郡の特色「農業」を生かした企業誘致に取り組んでいきたいと思っています。

まだ具体的なことはお話しできる段階ではありませんが、こうした取り組みのチャンス逃さないという心づもりで頑張っていきたいと思っています。